集落営農展開下の農業構造

--- 2010 年農業センサス分析 ---

目 次

			ページ
序 章 2010年農業センサス分析の視点	- 橋詰	登	1
1. はじめに			1
2. これまでのセンサス分析で示された論点と2010年調査の変更点		. – – – – -	2
(1) 農業構造の変化とこれまでのセンサス分析で示された論点			2
(2) 調査項目の削減と構造把握上の限界		. – – – – –	3
3. 政策転換下での構造変動の把握視点			4
(1) 農業構造の変動に直結した集落営農組織			
(2) 2010年農業センサス分析による構造把握の主眼点			
4. 本資料の章別構成			6
第1章 農地供給層(中小零細規模農家・土地持ち非農家)の動向	- 杉戸古	7松	8
1. はじめに			
			_
 農家数や経営耕地面積等の動向 (1) 農地所有世帯と経営耕地面積,耕作放棄地等の動向 			
(1) 展地所有世帝と辞呂耕地面積, 耕作放乗地等の動向(2) 借入および貸付耕地面積の動向			
(3) 小括			13
3. 経営規模別販売農家の動向			13
(1) 階層移動と農地供給の動向			13
(2) 主副業別と経営組織別にみた販売農家の動向			
(3) 小括			19
4. おわりに			20
第2章 都府県における大規模農家の動向と特徴	- 平林光	· ·幸 -·	22
1. はじめに			22
 2. 経営耕地面積5ha以上農家の状況と推移 			
(1) 経営耕地規模別農家数の動向			
(2) 農産物販売金額規模別農家数の動向			27
(3) 水稲作業受託の動向			29
(4) 土地利用状況			30
(5) 複合化・多角化の動向			30
3. 5ha以上農家の労働力構造と課題			32
(1) 専兼業別および主副業別の分析			32
(2) 農業労働力の高齢化と経営継承問題		. – – – – –	34
4. 15ha以上農家の経営内容と特徴			37
(1) 経営耕地面積規模別の動向			37
(2) 経営耕地面積規模別にみた販売金額の動向			
(3)土地利用状況			39

(4) 多角化動向	
5. おわりに 一総括と今後の課題	
第3章 農家以外の農業事業体の動向とその特徴	江川 章
1. はじめに	
2. 事業体の全体動向とその特徴	
(1) 事業体の全体動向と主位部門別の動き	
(2) 事業体の法人形態別の動向	
3. 事業体の規模別動向とその特徴	
(1) 経営面積規模別の動向	
(2) 農産物販売金額規模別の動向	
4. 土地資源と家畜資源における事業体のシェア	
(1) 経営耕地面積に占める事業体のシェア	
(2) 借地面積に占める事業体のシェア	
(3) 耕種部門における事業体のシェア(4) 畜産部門における事業体のシェア	
5. 農業機械·労働力の動向(1) 農業機械の保有状況	
(1) 展集機械の休有 (1) (2) 農業労働力の動向	
6. おわりに	
1. はじめに	
2. 販売農家の世帯員の動向	
(1) 年齢別世帯員の動向(2) 経営主, 同居後継者の動向	
(2)経営主,同居後継者の動向 (3)小 括	
3. 農業労働力の動向	
(1) 各種労働指標の動向	
(2) 基幹的農業従事者の動向	
(3) 自営農業従事日数別従事者数の動向	
(4) 小 括	
4. 年齢別の基幹的農業従事者の特徴	
(1) 農産物販売金額, 農業経営組織別の特徴	
(2) 農業労働力の保有状況別の特徴	
(3) 小括	
5. おわりに	
育5章 農業センサスにおける農業雇用労働力の存在形態	
1. はじめに	
2. 常雇の動向	
3. 販売農家における常雇の動向	
(1) 販売農家における常雇の存在状況	

(2) 農業経営組織別にみた常雇の特徴	95
(3) 農家の労働力保有状態と常雇との関係	97
(4) 都道府県別にみた常雇の存在状況	99
4. 販売農家を除く農業経営体における常雇の動向	102
(1) 販売農家を除く農業経営体における常雇の存在状況	
(2) 農業経営組織別にみた常雇の特徴	
5. おわりに	
第6章 集落営農展開下での農地利用の変化と地域性 橋詰 登	110
	110
	110
2. 農地総量の変化と減少要因	110
(1) 農地総量の推移	110
(2) 農地の減少要因	111
3. 農地所有主体と集落営農組織の動向	
(1) 農地所有主体数の動向と地域性	
(2) 農家および農家以外の農業事業体の経営面積規模別の動き	
(3) 販売農家の経営耕地面積規模別の階層移動状況	
(4) 集落営農組織の動向	117
4. 農地の所有と利用の乖離	118
(1)農地利用の変化	118
(2) 農地の中心的な出し手・受け手の農地利用	
5. 水田利用の変化とその地域的特徴	
(1) 借地による水田流動化の進展	
(2) 水田農業における借地主体の変化	126
(3) 水稲作作業受託の動き	127
6. おわりに	129
第7章 水田農業における担い手形成と農地集積 小野智昭	132
1. はじめに	132
2. 水田農業における生産主体と水田面積	132
(1) 生産主体と田面積の全国動向	
(2) 田のある生産主体と田面積の地域別動向	
(3) 水田農業における借地の動向	
(4) 水田における土地利用別の担い手	139
3. 農家以外の農業事業体の内実	142
(1)機械所有	142
(2) 農家と構成員	144
4. おわりに	146
第8章 農業地域類型別にみた構造変化とその特徴 橋詰 登	149
1. はじめに	149
2. 農業生産主体の量的・質的変化	
(1) 1990年以降の農家数動向	
(2) 農家等の農業生産主体数の動向	
(2) 農家等の農業生産主体数の動向	150

(3) 販売農家の質的変化	153
(4) 組織経営体・農家以外の農業事業体の動向	155
3. 農業労働力の動向	157
4. 農地利用の変化と担い手形成	158
(1) 農地総量の変化	158
(2) 農地の出し手と受け手の動向	159
(3) 借地による農地流動化の動き	161
(4) 農家以外の農業事業体の水田農業への進出	162
5. おわりに	163
終 章 2010年農業センサスにみる構造変動と展開方向 橋詰 登	165
1. 各章における論点の整理	165
(1) 農業生産主体に関する分析から	165
(2) 農業労働力に関する分析から	166
(3) 農地利用と担い手形成に関する分析から	167
(4) 農業地域類型別の分析から	167
2. 集落営農展開下での構造変動の特徴と構造把握上の留意点	168
(1) 集落営農の展開と水田農業の構造変化	168
	-00
(2) 過渡的な集落営農組織の影響による地域実態と統計の乖離	168